

～日本一大きな柿 富士柿産地を守りたい～
井上 千代美さん(八幡浜市)

株式会社丸京農園 代表取締役 1983 年生まれ
ホームページ <https://fujigaki.jp/>
フェイスブック 【日本一大きい柿・丸京農園の富士柿】



☆経営概況☆

日本一大きいと言われる富士柿を、八幡浜市国木地区の約 2ha の園地で、年間約 50 トンを収穫しています。

2016 年 8 月に、傷果などで捨てられていた富士柿の有効利用を目指し、**加工・販売を目的にした株式会社丸京農園を設立**し、1 シーズン 1 万個程度の干し柿を製造し、自社サイトや百貨店ギフトなどで販売しています。

☆ここがポイント☆

八幡浜市国木地区は、日本一大きな富士柿の産地ですが、認知度は低く後継者も不足しています。私自身、高校卒業後地元を離れ、都会で薬剤師として働いていました。20 代後半に病気をし、生活を見直した時故郷である八幡浜を思い出し、その後は休暇ごとに実家に戻り、農園を手伝っていました。その中で、いいものがあるのに十分に評価されていない富士柿の現状とその素晴らしさに気づき、2016 年一念発起し、**生産から加工・販売まで取り組む丸京農園の代表取締役として起業**しました。先代から受け継いだ技術に、**女性ならではの気配りや、斬新なアイデア、自由な発想をプラスし、存続する富士柿栽培と付加価値をつけた従来の干し柿とは一味違う商品づくり**に取り組んでいます。

また、柿のオフシーズンは、愛媛と関東を行き来しながら、首都圏を拠点に営業活動を行うとともに、フリーの薬剤師として働く、2足のわらじ生活をしています。

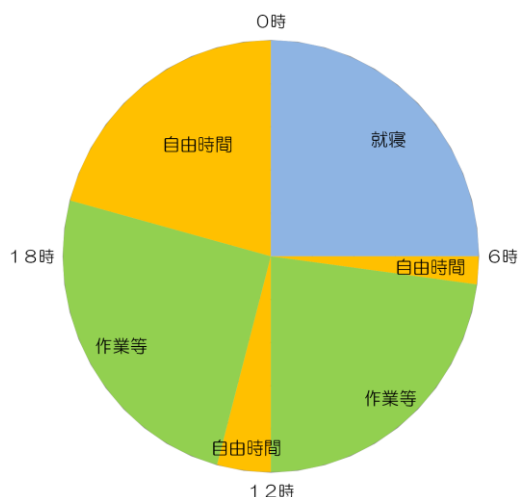


会社設立時に建設した加工ハウスでの干し柿づくり



一人でも多くの人に知ってもらえるよう販促活動も積極的に参加

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

柿のシーズンである秋冬は、家族以外にも雇用を入れ、収穫・加工・発送など、それぞれが役割分担して作業を進めています。

私は**全体の進捗状況管理と発送等を行いながら、催事や展示会など販促活動**もしています。

シーズンオフは首都圏での営業も兼ねて関東で生活し、フリーの薬剤師として服薬指導、栄養指導を行い、「**健康は食から**」の理念で**医農連携**に取り組んでいます。休日は趣味のモーターパラグライダーで空を飛んでいます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	出荷調整作業 ※悪天候などにより作業が少ない時が休日					
【普通期】	営業活動・販売打合せ		薬剤師として健康指導			休日



趣味のモーターパラグライダー



フリーの薬剤師としても働きます

☆これからの夢や目指すもの☆

■富士柿産地を守りたい！

薬剤師の知識を生かし、「働く 30~40 代の女性がバッグの中から取り出して罪悪感なく食べられる」スイーツを作って富士柿の魅力を伝えていきたいと思います。将来は、規模拡大して地域の人たちが廃棄している柿を買い取って加工できるシステムを構築し、富士柿の産地を守っていきたくと思っています。

☆メッセージ☆

■贈られた人を笑顔にできる贈答品を！

富士柿は大きいものでは1個 600gになるものもあり、その大きさ故に愛媛の暖かい気候での干し柿づくりはカビも付きやすく、仕上がりにまで気が抜けません。そのほとんどが手作業で大変な作業ですが、その分愛情のこもった商品となり、ギフトなどで送り出す喜びがあります。**受け取った人を笑顔にできる商品づくり**を目指します。